

学年	高校2年	教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	3
教科書名	Vision Quest Logic and Expression II Hope (啓林館)			副教材名	Grammar Collection Select Version (いゐずな書店) スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社) RANDOM CHALLENGE 600 Advanced (いゐずな書店)		
コース・クラス	選抜理系						

I. 目標

- (1) 日本人教員の授業では大学入学試験で出題される文法・語法問題において、国公立や難関私立大学の問題に対応できる力を身に着ける。また、英検2級から準1級相当の英語運用力（CEFR B1）を目標とする。
- (2) ネイティブの教員との授業では英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

II. 授業のねらい

- (1) 大学入試レベルの文法・語法問題の解法を理解させる
- (2) 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す能力を養う。
- (3) 読み手や目的に応じて、簡潔に書く能力を養う。
- (4) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する能力を養う。

III. 授業の進め方

- (1) 副教材を中心に問題演習の量と時間を確保し、受験に通用する基礎力、実践力の定着を促す。
- (2) 定期的に小テスト実施し、定着の度合いを図る。

IV. 学習上の留意点

- (1) 予習よりも復習を重視する。その日に学習した内容は解きなおしや音読などを通して確実に定着させること。
- (2) 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
- (3) 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- (4) 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

- (1) 教科書と問題集の内容に基づいて出題する。
- (2) 定期試験の範囲（予定）

1学期 中間試験 : Grammar Collection (時制、受動態、助動詞、仮定法、不定詞、動名詞)
スクランブル英文法 (時制、受動態、助動詞、仮定法、不定詞、動名詞)

- 1 学期 期末試験 : Grammar Collection (分詞、動詞の語法①、②、関係詞、接続詞、前置詞)
スクランブル英文法 (分詞、動詞の語法、関係詞、接続詞、前置詞の語法)
- 2 学期 中間試験 : Grammar Collection (形容詞の語法、副詞の語法、比較、名詞の語法)
スクランブル英文法 (形容詞の語法、副詞の語法、比較、名詞・冠詞の語法)
- 2 学期 期末試験 : Grammar Collection (代名詞の語法、主語と述語動詞の一致、疑問文、
否定・倒置・省略・強調)
スクランブル英文法 (代名詞、疑問、否定、強調・倒置・省略・代用)
- 3 学期 学年末試験 : RANDOM CHALLENGE 600 Advanced (第1回～第15回)

VI. 評価方法

- (1) 授業中の活動
- (2) 発表
- (3) 課題の提出
- (4) 小テスト・定期試験

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	Vision Quest Hope Lesson 1～4 Grammar Collection 1 時制 2 受動態 3 助動詞 4 仮定法 5 不定詞 6 動名詞 8 動詞の語法① 9 動詞の語法② 10 関係詞 11 接続詞 12 前置詞 スクランブル 第1章時制 第2章受動態 第3章助動詞 第7章仮定法 第4章不定詞 第5章動名詞 第15章動詞の語法 第12章関係詞 第13章接続詞 第19章前置詞の語法	定期試験 小テスト 発表 提出物	文法 頻出の文法・語法問題に確実に正確に正解できる。 表現：書く ①将来の夢や実現するための努力について、文と文のつながりを意識して文章を書くことができる。 ②留学生のために催したい学校行事について、自分の考えや詳細を順序立てて説明することができる。 ③好きなスポーツ選手や彼らの達成について、具体例や情報を加えて説明するパラグラフを書くことができる。 ④ソーシャルメディアの利点と欠点について話し合い、その意見を比較・対比するパラグラフを書くことができる。
	9 10 11 12	Vision Quest Hope Lesson 5～8 Grammar Collection 13 形容詞の語法 14 副詞の語法 15 比較 16 名詞の語法 17 代名詞の語法 18 主語と述語動詞の一致 19 疑問文 20 否定・倒置・省略・強調 スクランブル 第17章形容詞の語法 第18章副詞の語法 第8章比較 第16章名詞・冠詞の語法 第11章代名詞 第9章疑問 第10章否定 第14章強調・倒置・省略・代用		
二学期	9 10 11 12	Vision Quest Hope Lesson 5～8 Grammar Collection 13 形容詞の語法 14 副詞の語法 15 比較 16 名詞の語法 17 代名詞の語法 18 主語と述語動詞の一致 19 疑問文 20 否定・倒置・省略・強調 スクランブル 第17章形容詞の語法 第18章副詞の語法 第8章比較 第16章名詞・冠詞の語法 第11章代名詞 第9章疑問 第10章否定 第14章強調・倒置・省略・代用	定期試験 小テスト 発表 提出物	文法 頻出の文法・語法問題に確実に正確に正解できる。 表現：書く ①深刻な環境問題について、理由や因果関係を示すパラグラフを書くことができる。 ②海外旅行者の傾向について、自分の主張や理由の根拠を示す引用を用いて、パラグラフを書くことができる。 ③公用語について書かれた記事の構成や要点を理解し、要約をパラグラフにまとめることができる。 ④日本の教育制度に関する発表を聞き、要点を理解し、要約をパラグラフにまとめることができる。

三 学 期	1	Vision Quest Hope	定期試験 小テスト 発表 提出物	文法 頻出の文法・語法問題に確実に正確に正解できる。 表現 : 話す ①自分の願望について、詳細な理由を付け加えてスピーチすることができる。 ②AI と共に生きるのに何が重要かについて、資料やデータを示して発表することができる。 ③「10代の若者は8～9時間の睡眠をとるべきか」という議題のディベートにおいて、自分の立場から主張や根拠となる考えを述べることができる。 ④チョコレートの売り上げを伸ばすのに重要なことについて、グループで共に意見や考えを出し合い、ディスカッションすることができる。
	2	Lesson 9～12		
	3	RANDOM CHALLENGE 第1回～第15回		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。